

生駒市環境モデル都市推進協議会について

1 設立背景・目的

平成 26 年に当市は住宅都市としては全国で初めて環境モデル都市に選定された。これを受けて、当市が目指すべき将来像「市民・事業者・行政の“協創”で築く低炭素“循環”型住宅都市」を実現するために行うべき各取組を定めた「生駒市環境モデル都市アクションプラン」を策定した。この取組を着実に推進するため、多様な見地から環境モデル都市アクションプランに定める取組についての進捗状況を踏まえた意見・提案等を行うことを目的とし、地域のステークホルダーである市民、事業者、研究機関等で構成する「生駒市環境モデル都市推進協議会」を設置することとした。

2 環境モデル都市アクションプラン概要

多様な主体の参画と連携を基盤として、5つのモデルを構築し、温室効果ガスの大幅な削減とともに、「市民・事業者・行政の“協創”で築く低炭素“循環”型住宅都市」、としてのブランドを向上し、市民生活に新たな価値を創造することを目指す。

【温室効果ガス削減目標】（基準年度：2006 年度）

2030 年度 基準年度比 35%（約 10.6 万 t-CO₂）削減

2050 年度 基準年度比 70%（約 21.3 万 t-CO₂）削減

【取組の5つの柱】

- ① 「都市構造の再設計（高齢化社会へ対応した多機能化・コンパクト化）」
- ② 「資源循環・エネルギー自給システムの構築」
- ③ 「ICT を活用したコミュニティサービスの推進」
- ④ 「食のバリューチェーン構築」
- ⑤ 「コミュニティ交通システムの再構築」

【環境モデル都市アクションプラン進捗管理の流れ】

